

授業科目	インターンシップ支援講座【実習】		開講時期	前期
担当教員	崔 耿美		単位	1
授業の目的と概要	<p>本学の学生の大半は就職する。しかし、就職したからといってそれがゴールではない。女性であるからには、結婚・妊娠・出産などのライフイベントと仕事を絡めてキャリアを形成していくことを考える必要がある。本授業では、そのために必要な知識・技能を体得することを目的とする。そのために、インターンシップ経験を通じて知識と体験を合わせて自分の職業人生を考える。本授業の構成は、前期の授業+九州インターンシップ協議会主催の事前研修+インターンシップ経験+キャリアインターンシップ（後期科目）の受講で2単位である。授業の目的を効果的に構成するために、TBL(Team-Based Learning)を導入する。TBLを成立させるためには、個々の学生が責任を持って授業外学修に取り組み→授業において真摯にチームで討議を行い→クラス全体で討議を行うとともに→教員からのメッセージを受け取り、気づきを内省するというプロセスが不可欠である。</p>			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. キャリアを形成していくために必要な、知識・技能・態度について説明することができる。</li> <li>2. インターンシップの課題表示より、インターンシップで体得したいことを具体的に表現できる</li> <li>3. 職業選択に関する自らの思いを、第三者に伝えることができる。</li> </ol>			
この授業が目的としているDPや関連する科目など	<p>(1) -②自分の感情や欲求をコントロールして行動できる。「自己管理能力」  (1) -④社会の一員としての意識をもってその発展に関わることができる。「市民としての社会的責任・勤労観」  (3) -①自己にふさわしいキャリアを構想できる。「キャリアを構想する力」</p> <p>&lt;授業外学修&gt;1回の授業につき45分必要です。詳しくは学生便覧参照。</p> <p>この科目は韓国の製造業・日本の経済団体での実務経験のある教員が担当しています。</p>			
授業計画	授業内容	授業外学修など		
第1回	授業の概要説明（授業の全対象を理解するための模擬授業） 0時間目 女だからチャンスはある	復習：シラバスの内容の吟味と履修の意思決定		
第2回	1時間目 就・妊・婚・三大「活」はつながっている	受講ノートの指示に沿った教科書「1時間目」事前学修・事後学修		
第3回	2時間目 今就活に何が起きているか？	受講ノートの指示に沿った教科書「2時間目」事前学修・事後学修		
第4回	インターンシップについてのガイダンス（進路支援課）	進路支援課の学内での役割を事前に調べて参加すること		
第5回	チームビルディング演習	継続して受講予定の学生は必ずチームビルディング演習に参加すること		
第6回	3時間目 女子学生の就活・常識のウソ	受講ノートの指示に沿った教科書「3時間目」事前学修・事後学修		
第7回	4時間目 女子学生のための“納得就活”のコツ	受講ノートの指示に沿った教科書「4時間目」事前学修・事後学修		
第8回	5時間目 女子が働きやすいのはどんな職場？	受講ノートの指示に沿った教科書「5時間目」事前学修・事後学修		
第9回	6時間目 社会で役立つ雇用の常識・法律知識	受講ノートの指示に沿った教科書「6時間目」事前学修・事後学修		
第10回	7時間目 後悔しないための「結婚」とお仕事の基礎知識	受講ノートの指示に沿った教科書「7時間目」事前学修・事後学修		
第11回	8時間目 後悔しないための「妊娠」とお仕事の基礎知識	受講ノートの指示に沿った教科書「8時間目」事前学修・事後学修		
第12回	9時間目 女子が本当に幸せになるための働き方	受講ノートの指示に沿った教科書「9時間目」事前学修・事後学修		
第13回	成果発表（オーラル・プレゼンテーション）と質疑応答	受講ノートの提出/持論の整理とプレゼンテーションの準備/受講ノートの完成		
第14回	成果発表（オーラル・プレゼンテーション）と質疑応答	持論の整理とプレゼンテーションの準備		
第15回	インターンシップの課題の提示、授業のまとめ 授業ノートの返却	授業で提示したインターンシップの課題の達成方法を考案		
成績評価	割合（％）、種類・評価基準など			
定期試験	なし			
レポート	30% 受講ノート（最終ページで授業全体の振り返りを記述したもの）の提出 *フィードバックは授業ノートの返却の際に書面添付			
小テスト等	なし			
成果発表	20% オーラル・プレゼンテーション			
受講態度他	50% TBLへの貢献、チーム討議・クラス討議への積極的な参加			
受講上の留意点・ルールに関わる情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の目的と概要で述べたように、本授業ではTBL(Team-Based Learning)を導入する。TBLを成立させる大前提は、個々の学生による自らとチームの仲間の学修への責任を持った授業外学修である。これを怠る学生は授業の場に入ることを拒否する。初回の授業で本授業専用の受講ノートを配付し、受講に関するルールの詳細について説明する。この授業を履修しようとする学生は必ず初回の授業に参加することを強く求める。</li> <li>・九州インターンシップ推進協議会主催の事前研修会・インターンシップ参加には1万2千円程度の参加費が必要である</li> </ul>			
教科書	プリントを配布する			
指定図書	なし			
参考図書	なし			
オフィスアワー	授業の前後	メールアドレス		

授業科目	キャリアインターンシップ【実習】		開講時期	後期
担当教員	大橋 健治		単位	1
授業の目的と概要	本授業の目的は、インターンシップ支援講座の修了者（単位取得者）が自らの経験を振り返り、第三者に対して語るに足る価値を導き出す機会を与える場を提供することにある。そのために、同様の経験をした学生同士が、自らの経験を語り合い学びあって自らの経験を昇華させるような、いわゆる経験学習を実践できるような授業をめざす。具体的には、TBL（Team-Based Learning）とプレゼンテーションというアクティブ・ラーニングの手法を導入する。			
到達目標	1. 自らのインターンシップ経験を体系的にまとめることができる。 2. 自らのインターンシップ経験を第三者に語るすることができる。			
この授業が目的としているDPや関連する科目など	(3) -①自己にふさわしいキャリアを構想できる。「キャリアを構想する力」 この科目は一般企業での実務経験のある教員が担当しており、「授業の目的と概要」記載どおりの実践的教育を行います。 関連する科目：キャリアデザイン基礎、ライフマネジメントⅠ、ライフマネジメントⅡ、インターンシップ支援講座など			
授業計画	授業内容	授業外学修など		
第1回	インターンシップの振り返りとインターンシップ体験報告書の作成	インターンシップ支援講座の内容とインターンシップ体験の振り返り		
第2回	インターンシップ体験の報告会（TBLに基づくアクティブ・ラーニング）	インターンシップ体験報告書の作成とTBLでの気づきのまとめ		
第3回	インターンシップ体験のプレゼンテーションⅠ（全受講者の内5～7名）	PPTによるスライドと口頭発表に準備&気づきのまとめ		
第4回	インターンシップ体験のプレゼンテーションⅡ（全受講者の内5～7名）	PPTによるスライドと口頭発表に準備&気づきのまとめ		
第5回	インターンシップ体験のプレゼンテーションⅢ（全受講者の内3～5名）&まとめ	PPTによるスライドと口頭発表に準備&気づきのまとめ		
—	—	—		
—	—	—		
—	—	—		
—	—	—		
—	—	—		
—	—	—		
—	—	—		
—	—	—		
—	—	—		
成績評価	割合（％）、種類・評価基準など			
定期試験	なし			
レポート	30％ 初回の授業（事後学修を含む）で作成したインターンシップ体験報告書の出来栄			
小テスト等	なし			
成果発表	20％ インターンシップ体験のプレゼンテーションの出来栄			
受講態度他	50％ アクティブ・ラーニングへの貢献度			
受講上の留意点・ルールに関わる情報	授業の目的と概要で述べたように本授業はTBL（Team-Based Learning）とプレゼンテーションで運営する。これらのアクティブ・ラーニングの前提は学生による事前学修への誠実な取り組みである。また、授業への無遅刻・無欠席での参加も重要な要素である。やむを得ない遅刻・欠席は可能な限り事前に連絡を入れること。			
教科書	プリントを配布する			
指定図書	なし			
参考図書	なし			
オフィスアワー	水曜日の昼休み	メールアドレス		

授業科目	ライフマネジメントⅡ【演習】	開講時期	前期
担当教員	大橋 健治	単位	2
授業の目的と概要	<p>ライフマネジメントⅠでは、問題解決の考え方や手法を学んだ。しかし、人は人生のさまざまな問題に直面して、必ずしも合理的な問題解決を行えるわけではない。ヒューリスティック（思考の短絡化）やバイアス（偏見）によって簡単に歪められてしまう。そこで、ライフマネジメントⅡでは、女性としての交渉力に焦点を当て、次のようなことを考えていくことを目的とする。</p> <p>1. 男女共同参画が必要な現代社会において、我々がいかにジェンダーバイアス（男女の役割に関する固定観念）に囚われているかを知る。</p> <p>2. 男女の役割に関する固定観念の呪縛から逃れ、女性らしい交渉力を身につけるためにはどうすれば良いか。</p> <p>本年度は遠隔授業となったので、授業の各回で指定された文献や資料映像を見て意見や感想を述べあう（簡単なレポートを提出する）形式とを採用する。</p>		
到達目標	<p>1. 女性のジェンダーバイアスを、教科書にそって第三者と議論しながら考えることができる。</p> <p>2. 自らが理想とする交渉スタイルを、第三者に語るすることができる。</p>		
この授業が目的としているDPや関連する科目など	<p>(1) -②自分の感情や欲求をコントロールして行動できる。「自己管理能力」</p> <p>(2) -①多様な価値観を尊重し、他者とつながるための意思疎通ができる。「コミュニケーション・スキル」</p> <p>(3) -④社会の多様な問題を発見し、解決することができる。「問題解決力」</p> <p>(3) -①自己にふさわしいキャリアを構想できる。「キャリアを構想する力」</p> <p>&lt;授業外学修&gt;1回の授業につき180分必要です。詳しくは学生便覧参照。</p> <p>科目担当者の中には一般企業での実務経験のある者がおり、「授業の目的と概要」記載どおりの実践的教育を行います。</p> <p>関連する科目：キャリアデザイン基礎、ライフマネジメントⅠ、インターンシップ支援講座、キャリアインターンシップなど</p>		
授業計画	授業内容	授業外学修など	
第1回 授業の概要説明		シラバスの内容確認と受講動機の表明	
第2回 ジェンダーバイアスについて		指定したNETのサイトを閲覧し事後学修を行う	
第3回 交渉力の必要性について（考え方を学ぶ）		指定したYouTubeの資料映像を閲覧し事前学修・事後学修を行う	
第4回 交渉力の行使について（スキルを学ぶ）Ⅰ		指定したYouTubeの資料映像を閲覧し事前学修・事後学修を行う	
第5回 交渉力の行使について（スキルを学ぶ）Ⅱ		指定した文献を読み事前学修・事後学修を行う	
第6回 交渉力の行使について（スキルを学ぶ）Ⅲ		指定した文献を読み事前学修・事後学修を行う	
第7回 交渉力の行使について（スキルを学ぶ）Ⅳ		指定した文献を読み事前学修・事後学修を行う	
第8回 交渉力を行使するあなたにとって大切な人格形成についてⅠ		指定したYouTubeの資料映像を閲覧し事前学修・事後学修を行う	
第9回 交渉力を行使するあなたにとって大切な人格形成についてⅡ		指定したYouTubeの資料映像を閲覧し事前学修・事後学修を行う	
第10回 交渉力を行使するあなたにとって大切な人格形成についてⅢ		指定したYouTubeの資料映像を閲覧し事前学修・事後学修を行う	
第11回 交渉力を行使するあなたにとって大切な人格形成についてⅣ		指定したYouTubeの資料映像を閲覧し事前学修・事後学修を行う	
第12回 自分自身の交渉体験を振り返ってⅠ		自分自身の交渉体験について振り返りレポートを行う	
第13回 自分自身の交渉体験を振り返ってⅡ		他者の交渉体験を閲覧し自分足らざるところを発見する	
第14回 修了レポートの作成にあたっての質疑応答Ⅰ（リアルタイム方式を想定）		質問や問題提起の準備	
第15回 修了レポートの作成にあたっての質疑応答Ⅱ（リアルタイム方式を想定）		質問や問題提起の準備	
成績評価	割合（％）、種類・評価基準など		
定期試験	なし		
レポート	50% 各回のレポートと最終成果レポートの成果		
小テスト等	なし		
成果発表	なし		
受講態度他	50% 遠隔授業への積極的参加		
受講上の留意点・ルールに関わる情報	<p>この授業は従来、TBL（Team-Based Learning）によって運営してきたが、本年度は遠隔授業での実施となるので、抄読会形式で授業を運営する。抄読会とは、学生が自分の研究テーマに基づいて選んだ文献を深く読み、その内容と得られた示唆を報告しあう場のことを言う。この授業では、文献をNETのサイトの閲覧やYouTubeの閲覧に統一し、各回の課題に沿ってそれらを閲覧し、意見や感想を述べてもらう（簡単なレポートを提出してもらう）。学生同士のレポートを閲覧することにより、同じものを見聞きしても人それぞれに内容のとらえ方が多様であることを感じてもらうような彼我比較の場としたい。</p>		
教科書	NETのサイトやYouTubeの映像データを紹介する		
指定図書	なし		
参考図書	なし		
オフィスアワー	月曜日の14：00～17：00	メールアドレス	各教員の他科目のシラバスを参照

授業科目	ウエルネス・スポーツ I 【実技】		開講時期	前期
担当教員	栗木 明裕・泉原 嘉郎・大橋 充典		単位	1
授業の目的と概要	本授業は各人が選択したスポーツの実習を通して、それぞれのスポーツの技術・ルール・マナーなどを学習しながら発育終期を迎えた学生の健康・体力向上を図る。また、体力のみならずスポーツを通して、社会の中で生きていく上でのライフスキルを養う。実習するスポーツは、バレーボール、バドミントン、卓球、テニスであり、その他にレクリエーション等も適宜加えられる。また、多種多様なトレーニング方法を準備運動等へ盛り込み、体力の向上に役立てる。			
到達目標	1チームワークを含めたスポーツの楽しさを体得する。 2スポーツを媒体にして仲間とのコミュニケーション能力をはじめとするライフスキルを養う。 3自らの体力レベルを把握し、自己評価することができる。 4スポーツなどの身体活動を積極的に生活の一部に取り入れることができる。			
この授業が目的としているDPや関連する科目など	(1) -③他者と協働して課題に取り組むことができる。「チームワーク力」 (2) -①多様な価値観を尊重し、他者とつながるための意思疎通ができる。「コミュニケーション・スキル」 担当教員の中には理学療法士としての実務経験を有する者がおり、「授業の目的と概要」記載どおりの実践的教育を行います。			
授業計画	授業内容	授業外学修など		
第1回	オリエンテーション	現在の生活習慣を検証する。		
第2回	大学生に必要なライフスキル・カラダを知る	自分に必要なライフスキルを理解する。 適切な強度で運動を実践する		
第3回	演習 (1) 自宅のできる軽運動	普段の生活に取り入れて実践する		
第4回	演習 (2) ボディメイクエクササイズ	普段の生活に取り入れて実践する		
第5回	演習 (3) ボディメイクエクササイズ	普段の生活に取り入れて実践する		
第6回	演習 (4) ボディメイクエクササイズ (体幹を意識したエクササイズ)	普段の生活に取り入れて実践する		
第7回	演習 (5) コーディネーショントレーニング (1)	普段の生活に取り入れて実践する		
第8回	演習 (6) ピラティス (1)	普段の生活に取り入れて実践する		
第9回	演習 (7) 運動プログラムの作成・実践 (1)	普段の生活に取り入れて実践する		
第10回	演習 (8) 運動プログラムの作成・実践 (2)	普段の生活に取り入れて実践する		
第11回	種演習 (9) ピラティス (2)	普段の生活に取り入れて実践する		
第12回	演習 (10) コーディネーショントレーニング (2)	普段の生活に取り入れて実践する		
第13回	演習 (11) 観るスポーツ (1)	普段の生活に取り入れて実践する		
第14回	演習 (12) 観るスポーツ (2)	普段の生活に取り入れて実践する		
第15回	まとめ	スポーツの役割、ウエルネススポーツの目的を再確認する		
成績評価	割合 ( % )、種類・評価基準など			
定期試験	なし			
レポート	なし			
小テスト等	90% : 授業毎の課題を提出することで評価する			
成果発表	なし			
受講態度他	10% : 授業への参加状況を評価する			
受講上の留意点・ルールに関わる情報	前期は感染症予防の観点から遠隔授業で対応する。 大学施設を利用して演習することができないため、受講生自身で教員の指示に従って自宅での演習に取り組むこと。 私生活に運動を取り入れ、健康的な生活を送ること。 資料は授業時間割に合わせて配信する。毎回の課題の提出期限は翌々日の23:59までとする。 質問は筑女ネットフォーラム、Office Teamsなどを利用して行う。			
教科書	特になし			
指定図書	特になし			
参考図書	特になし			
オフィスアワー	栗木：水曜日10:50~12:20、非常勤教員は授業前後に対応する	メールアドレス		

授業科目	ウエルネス・スポーツ論【講義】		開講時期	前期
担当教員	栗木 明裕		単位	2
授業の目的と概要	<p>「ウエルネス」とは、「健康」を積極的かつ総合的に捉えた健康観を指す。換言すると「どのようにすれば毎日をそして将来をより楽しめるか?」という考え方である。本授業はスポーツをキーワードに身体構造や身体活動について学習するにとどまらず、身の回りにあふれている健康や美容に関する情報を見極めるための知識と自分自身の健康観を養うことを目的としている。</p>			
到達目標	<p>1ウエルネスに対する知見を日常生活に生かせるようになる。 2身体活動・体力要素の特徴についての理解から、日常生活における運動の重要性を考えることができる。 3スポーツを運動の手段としてだけでなく、精神的、社会的なウエルネスに対して活用することができる。</p>			
この授業が目的としているDPや関連する科目など	<p>(1) -②自分の感情や欲求をコントロールして行動できる。「自己管理能力」 (3) -①自己にふさわしいキャリアを構想できる。「キャリアを構想する力」</p> <p>&lt;授業外学修&gt;1回の授業につき180分必要です。詳しくは学生便覧参照。</p> <p>この科目は理学療法士としての実務経験のある教員が担当しており、「授業の目的と概要」記載どおりの実践的教育を行います。</p>			
授業計画	授業内容	授業外学修など		
第1回 授業総論		WHO憲章の「健康」について調べる（予習）		
第2回 ウエルネスの概念		大学生としての快適なライフスタイルを考える（予習）		
第3回 健康と社会（1） 健康観の変遷		自分自身の健康観について考えをまとめる（予習）		
第4回 健康と社会（2） ライフスタイルの変遷		「生活習慣病」について調べる（予習）		
第5回 健康と生活（1） 身体のしくみ		内臓とその働きについて調べる（予習）		
第6回 健康と生活（2） 食と健康（ダイエット）		一日の摂取カロリーを計算する（予習）		
第7回 健康と生活（3） フードファディズム		身近なフードファディズムの例を調べる（予習）		
第8回 健康と生活（4） ストレスと健康		身のまわりのストレスについて調べる（予習）		
第9回 健康と生活（5） 睡眠と健康		一週間の睡眠時間を調べる（課題）		
第10回 スポーツと社会（1） スポーツ・運動の効果		身体活動の身体に対する効果について調べる（予習）		
第11回 スポーツと社会（2） スポーツ参加		スポーツイベントの魅力について考えをまとめる（予習）		
第12回 スポーツと社会（3） 観るスポーツ		メディアに取り上げられているスポーツとその効果について調べる（予習）		
第13回 女性と健康（1） 女性の身体特性		身体的性差について調べる（予習）		
第14回 女性と健康（2） 女性と体脂肪の関係		体脂肪の機能について調べる（予習）		
第15回 授業総括		自分自身の健康観について考えをまとめる（予習）		
成績評価	割合（％）、種類・評価基準など			
定期試験	なし			
レポート	55％ レポート40％（授業中に1回）、調査課題15％（授業中に1回）			
小テスト等	45％ 授業中に毎回課題を課す（15回）			
成果発表	なし			
受講態度他	提出課題の内容が基準に達していない場合（不備が多い場合等）は減点する可能性がある			
受講上の留意点・ルールに関わる情報	<p>感染症対策のため遠隔授業にて対応する。 資料は授業時間割に合わせて配信する。毎回の課題の提出期限は翌日の23：59までとする。 質問は筑女ネットフォーラム、Office Teamsなどを利用して行う。 単位取得としての授業参加も大切だが、ここで示した内容は自らの健康に関わってくるものであると捉えながら、授業にのぞんでもらいたい。</p>			
教科書	適宜資料を配布する			
指定図書	なし			
参考図書	適宜紹介する			
オフィスアワー	水曜日10：50～12：20（事前連絡要）	メールアドレス		